

平成19年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社 梅 の 花
代 表 者 名 代表取締役社長 梅 野 重 俊
(コード番号 7604 東証第二部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 本 多 裕 二
T E L 0 9 4 2 - 3 8 - 3 4 4 0

特別損失の計上及び平成19年9月期業績予想の修正について

最近の業績動向等を踏まえ、平成19年7月27日に発表いたしました平成19年9月期（平成18年10月1日～平成19年9月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

(1) 通期連結予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A) (平成19年7月27日発表)	20,303	1,208	1,080	535
今 回 予 想 (B)	20,079	950	869	471
増 減 (B-A)	△ 223	△ 257	△ 210	△ 63
増 減 率	△ 1.1 %	△ 21.3 %	△ 19.5 %	△ 11.9 %
前期実績 (平成18年9月期)	19,742	1,115	1,020	△ 692

参考：1株当たり予想当期純利益（通期）17,593円80銭

(2) 通期個別予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A) (平成19年7月27日発表)	6,633	176	209	44
今 回 予 想 (B)	6,601	100	128	△ 130
増 減 (B-A)	△ 32	△ 76	△ 80	△ 175
増 減 率	△ 0.5 %	△ 43.2 %	△ 38.5 %	— %
前期実績 (平成18年9月期)	6,570	159	200	△ 580

参考：1株当たり予想当期純利益（通期）△4,881円39銭

2. 修正理由及び特別損失の計上について

(1) 通期連結予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

- ① 売上高につきましては、2億23百万円(△1.1%)減を予測しております。主な内訳は、梅の花業態2億13百万円減、チャイナ梅の花業態2百万円増、かにしげ業態19百万円減、テイクアウト店業態2百万円増によります。
- ② 経常利益につきましては、売上高の減少及び食材の調達価格の高騰等により売上総利益2億41百万円減少すると予測しております。また、広告販促費の追加投入及び老朽化店舗の改装規模の拡大等による販売管理費の増加を見込み、前回予想比2億10百万円(△19.5%)減を予測しております。
- ③ 特別損失につきましては、移店に伴う損失が2店舗、閉店に伴う損失が2店舗増加し2億10百万円を見込んでおります。
- ④ 従いまして、通期連結業績の見通しは、売上高200億79百万円、経常利益8億69百万円、当期純利益4億71百万円を予測しております。

(2) 通期個別予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

- ① 売上高につきましては、連結子会社の店舗売上高の減少に伴い、食材の供給及びロイヤリティ収入の減少を見込み、前回予想比32百万円(△0.5%)減を予測しております。
- ② 経常利益につきましては、売上高の減少及び食材の調達価格の高騰等により売上総利益1億4百万円減少すると予測しております。また、販売管理費につきましては28百万円の減少を見込み、前回予想比80百万円(△38.5%)減を予測しております。
- ③ 特別損失につきましては、子会社への投資損失の増加等301百万円を見込んでおります。
- ④ 従いまして、通期個別業績の見通しは、売上高66億1百万円、経常利益1億28百万円、当期純損失1億30百万円を予測しております。

以 上